

広域振興局長

提出者 小岩井乳業株式会社

住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2

氏名 松崎 浩樹

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	小岩井乳業株式会社 小岩井工場	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	〒020-0507 岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	2,192 kℓ	*施設番号	
自動車の使用台数	台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
小岩井工場	〒020-0507 岩手県岩手郡雫石町丸谷地36-1	2,189 kℓ
盛岡支店	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通8-17明治安田生命盛岡駅前ビル8階	3 kℓ
		kℓ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( 2024 ) 年度									
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E-B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D						
原油(コンデンセートを除く)		kL		kL						
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL		kL						
揮発油(ガソリン)	3.68	kL	123	kL	123	8	9	-1		
ナフサ		kL		kL						
ジェット燃料		kL		kL						
灯油	1.68	kL	61	kL	61	4	3	1		
軽油	1.28	kL	49	kL	49	3	3	0		
A重油		kL		kL						
B-C重油		kL		kL						
石油アスファルト		t		t						
石油コークス		t		t						
石油ガス	764.40	t	38,297	t	38,297	2,289	2,324	-35		
液化石油ガス(LPG)		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
液化天然ガス(LNG)		t		t						
その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
可燃性天然ガス		t		t						
石炭		t		t						
輸入原料炭		t		t						
原料炭		t		t						
コークス用原料炭		t		t						
吹込用原料炭		t		t						
一般炭		t		t						
輸入一般炭		t		t						
国産一般炭		t		t						
輸入無煙炭		t		t						
石炭コークス		t		t						
コールタール		t		t						
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
高炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
転炉ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
その他の燃料		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
都市ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>						
( )										
( )										
小計①					38,529	2,305	2,339	-34		
産業用蒸気		GJ		GJ						
産業用以外の蒸気		GJ		GJ						
温水		GJ		GJ						
冷水		GJ		GJ						
地熱		GJ		GJ						
温泉熱		GJ		GJ						
太陽熱		GJ		GJ						
温水熱		GJ		GJ						
小計②										
電気事業者①	5,375.31	千kWh	46,443	千kWh	46,443	2,161	2,619	-458		
電気事業者② ※複雑契約している場合使用		千kWh		千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
自家発電		千kWh		千kWh						
太陽光		千kWh		千kWh						
水力		千kWh		千kWh						
風力		千kWh		千kWh						
その他		千kWh		千kWh						
小計③					46,443	2,161	2,619	-458		
合計④=①+②+③					84,972	4,466	4,958	-492		

(2) 原油換算エネルギー使用量 = (1)のエネルギー合計使用量 × 0.0258

原油換算エネルギー使用量	2,192	kL
--------------	-------	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	4,466 t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
ペーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>
三ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>
合計	4,466 t-CO <sub>2</sub>

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

## 別紙 その2

### 1 地球温暖化対策計画の達成状況

#### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・CO2排出量前年度比1.0%削減を目標に取り組んだ結果、前年度比9.9%の削減となった。
- ・生産処理量は前年度比6.0%の減少となり、化石燃料使用量1.4%の減少、電気使用量:2.1%の減少となった。
- ・対前年度比二酸化炭素排出量は、492[t-CO2]の削減となった。

#### 【具体的な取組状況】

- ①各係にて環境負荷低減を目的とした省エネ活動(EMP)を定め取り組みを行った。
  - ・重点課題としてエア漏れ点検の実施と漏れ箇所の修繕活動を定期的に行い、エネルギーロスの削減を図った。  
(エアリークビューアーにて気体の漏れ箇所を可視化し、漏れ箇所の特定が可能となった。)
  - ・照明設備をLED照明器具への変更改善を計画的に進め、電力削減を図った。
- ②四半期ごとに第一種特定製品の簡易点検の実施。
  - ・その際に冷房(27℃)暖房(22℃)設定の推奨を周知と、吸い込みフィルターの点検・清掃を行い運転の効率化を図った。
- ③冷水製造設備の大型冷凍機更新と機器の運転見直しによる、電力量の削減を行った。
  - ・取り組みの結果、前年度比9.4%の電力量削減ができた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

### 2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・環境活動として、工場周辺のゴミ拾いの実施、排水処理後の処理水を放流している河川の掃除、地域の清掃(年2回の御所湖周辺清掃)、植樹祭(小岩井農牧社主催)への参加を行った。

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (年度)

自 動 車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	( )	ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
軽油	( )	ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	kg-CO <sub>2</sub>	
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気		kWh	0.402 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	0 ( 0 )			kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の( )には、ハイブリッド車の台数(内数)を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

【具体的な取組状況】

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項